

地域防災支援強化【令和元年度の取り組み】 福島地方気象台

【地域防災支援強化】

近年相次いで発生している風水害等の災害を踏まえ、住民の的確な防災行動に結びつくよう、市町村、県、関係機関等と一体となって、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んで参ります。

具体的には、平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、防災気象情報の解説や地域特有の災害リスク等を共有します。また、協議会と連携して地域の防災力向上に直結する取組を更に進めます。緊急時（悪天等）においては、防災気象情報の切迫感が伝わる解説のほか、ホットライン等により、警戒体制の確立や避難情報発令等判断に関する支援を実施します。

**個々の市町村に対し、地域に密着して、より強力に取組を推進
平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います！**

平時には

- ・緊密な「顔の見える関係」を構築
- ・緊急時対応の知見・認識を共有

相乗効果で推進

緊急時には

- ・平時の取組を生かして切迫感が伝わる解説を
- ・情報を的確に「理解・活用」した防災対応へ



※JETT（気象庁防災対応支援チーム）

平時

●市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化

→平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、気象などに関する“ワンストップ”での支援を実施します。

●災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力

→各市町村等が行う訓練にシナリオ作成や訓練用の情報提供などで積極的に協力します。また、ワークショッププログラム等を活用した実践的な勉強会なども一緒にすすめていきます。

●地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力

→市町村地域防災計画等の修正作業の際は、具体的修正案を示し協力します。

●日頃からの予報官コメントやメール等による解説

→予想される大雨等の現象を早期に伝えるとともに、大雨等の発生時には気象台の持つ危機感を即時的に伝えることにより市町村の防災対応を支援します。

●協議会等との日頃からの連携

→減災対策協議会等と積極的に連携し、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んでいきます。

緊急時

●台風等説明会

→台風や発達する低気圧等により顕著な現象が予測された場合は、積極的に開催し予想される進路や影響などを解説します。

●予報官コメント、ホットライン

→平時に積み重ねた各自治体との関係や共通認識等を十二分に活用し、現象の推移に応じてポイントを絞った解説をします。

- ・社会に大きな影響を与える現象が予見される際、その可能性が高くなくとも、予測の困難性・不確定性も含め早い段階からその旨を解説し、危機感を共有します。
- ・利用者の立場に立って気象台の考えがより分かるよう頻繁に情報を発出をします。また、顕著現象が発生する前から注目していただきたい情報等や切迫感を伝えます。

●JETTの派遣

→災害発生・予見時に都道府県または市町村に気象台職員を迅速に派遣し、気象状況を適時に解説します。

流域雨量指数の予測値による洪水危険度の見通しの把握 (平成29年度出水期より)

内閣府「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインに関する検討会」(第2回)資料5より

■ 防災情報提供システムによる精緻化した流域雨量指数の提供イメージ

2016年8月30日14時00分

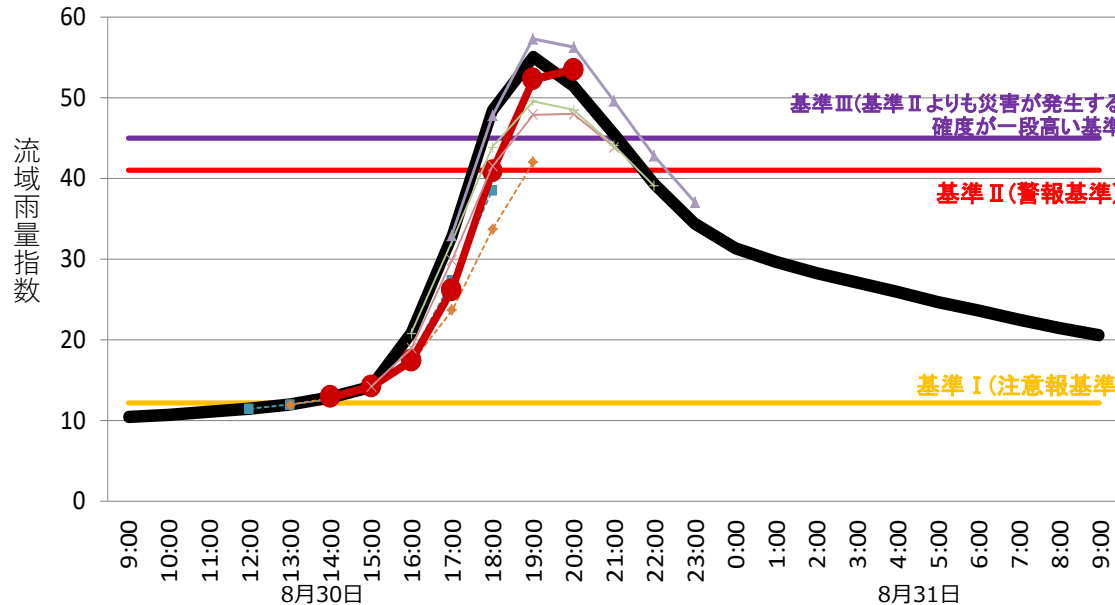
市区町村

過去12時間分の実況値

6時間先までの
予測値

市町村	基準河川	基準Ⅲ		基準Ⅱ (警報基準)		基準Ⅰ (注意報基準)		2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
		指数 基準	指数 基準	複合 基準	指数 基準	複合 基準	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分
岩泉町	安家川	23	16		12	(10)	6	6	6	6	7	7	7	7	7	8	7	8	9	10	12	19	27	29	26	
	折壁川	7	6		4		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	6	8	8	7		
	小本川	45	41		12	(6)	11	11	11	12	12	12	12	13	13	13	11	12	13	14	17	26	41	52	54	
	鼠入川	14	11		10		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	7	11	14	14	13		
	摂待川	12	11		9		3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	10	12	12	10		

■ 精緻化した流域雨量指数の予測値 (平成28年8月30日~31日、小本川)



- 実況値 (流域雨量指数)
- - 12:00時点の6時間先までの予測値
- - 13:00時点の6時間先までの予測値
- - 14:00時点の6時間先までの予測値
- - 15:00時点の6時間先までの予測値
- - 16:00時点の6時間先までの予測値
- - 17:00時点の6時間先までの予測値

帳票やグラフの指数値は、精緻化した流域雨量指数により平成28年台風第10号の事例を検証したもの。警報等の基準値は、平成29年出水期の実施に向けて調整中のもの。

洪水危険度の高まりを数時間前に把握することができます。